

## 守山まるごと活性化 議事要旨

会議名: 第11回 D 安心して暮らせる公共交通を考えるプロジェクト推進会議

日時: 平成29年3月14日(火) 午後8時00分から9時20分まで

場所: 中洲会館 2階 大ホール

出席者: 津田、小林、大塚、田中、奥野、萩野、森田、中西、棚上

出席者(行政): 館長、会館主事

使用資料: 次第、広報3月1日号記事

## 議題

- ・モーリーカーの概要説明を受けて
- ・今年度の活動のまとめ
- ・その他
- ・次回の会議について

## 会議要旨

## 内容

## ●モーリーカーの概要説明を受けて

前回会議で、モーリーカーの概要説明を受けたため、感想を述べ合った。

《感想》

- ・高齢者は有線電話に慣れているため、モーリーカーの予約ダイヤルを有線回線にしてはどうか。
- ・使いかけると使えるが、慣れるまでに時間がかかる。
- ・一律400円より、200円の方が良い。特に、年金生活の方からしたら。
- ・お年寄りにはせっちな人が多い。待たされることが苦手。
- ・おでかけパスに期待。今までを考えると安い。これは、高齢者の免許更新がしづらくなることへの対策か。

- ・今後、無免許運転が増える可能性を警察が危惧していると聞いた。
- ・営利企業と市の事業とのバランスを気にしていたら、実現は難しい。
- ・高齢者の福祉対策として、中洲の公共交通を良くしてもらうことが大事。
- ・モーリーカーの目的地制限は課題。

- ・実際に車に乗らない人から公共交通への意見を聞く必要がある。
- ・無免許の方からしたら、もっと億劫な理由で公共交通を利用しないのかもしれない。
- ・実際に、公共交通の内容を充実しても、無免許の方の行動範囲が狭いと使わないかもしれない。

無免許の方の行動範囲を知るのも良い。

- ・前回行ったアンケートでは、運転する人も回答できたので、高齢者や無免許の方の意見だけを抽出できない。

## ▶各自治会の老人クラブやすこやかサロンへアンケートを実施する。

4月以降にプロジェクト内で質問事項を検討する。

## ●今年度の活動のまとめ

## 【今年度の実績】

- ・平成27年度の実施したアンケートの回答をまとめ、結果を市へ提出した。
- ・モーリーカーの概要について、市から説明いただき、見識を深めた。

## 【今年度の課題に関する意見】

- ・公共交通に対する高齢者の意見を聞くことが必要。

## 決定事項

各自治会の老人クラブやすこやかサロンへアンケートを実施する。  
4月以降にプロジェクト内で質問事項を検討する。

## 次回以降について

平成29年度第1回会議:平成29年5月11日(木)19時30分～

## 会議要旨

### 内容

- ・市はバス会社に補助金を交付しているか。→ していない。バス会社は国から補助金を受けている(赤字額の半額)。
- ・レインボータクシーの実験結果は？ → レインボータクシーは“乗り継ぎ”に需要があるか調査をしたが、利用自体が少なかった。“目的地までの運行”が望まれている。
- ・タクシーの半額チケットを配付するのはどうか。 → 対象者の条件や予算面などから、ハードルが高い。特に、モーリーカーとの両立はできない。仮に、半額チケット制度を実施したとしても、利用者の負担がモーリーカーより大きい人もいる。
- ・モーリーカーの昼間の時間帯の利用が少ないなら、当日午前中の予約で午後から利用できるようにならないか。 → 話には挙がっているが、議論にまでは至っていない。モーリーカーはタクシーとして運行できないし、モーリーカーの運行がない場合は、運転手は本業のタクシーの運転にまわる。
- ・自治会長に真剣にもーリーカーの宣伝をするべき。 → 2月自治会長会でガイドブックの全戸配付をするかはかる。

#### 【リーダーより】

- ・各自、それぞれが一度、他市町村の公共交通をインターネットで調べてみることを提案。
- ・次回は、今回説明を受けた内容をもとに、詳細に議論していく。